

公開講座

た が じょう い せ さい くう

多賀城と伊勢斎宮

—奈良時代末期～平安時代初期の画期にみる歴史的意義—



令和3年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業

文化庁

開催日時 令和4年2月20日 (日) 13時00分～16時30分
(開場は12時30分から)

会場 東北歴史博物館 3階 講堂 宮城県多賀城市高崎1-22-1



多賀城II期政庁 復元模型と出土瓦



主催 日本遺産 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮 共催



齋宮歴史博物館

(齋宮活性化実行委員会)



東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM

宮城県多賀城跡調査研究所



平安時代 齋宮寮庁での祈年祭のようす（明和町提供）

三重県・伊勢平野の南部の明和町にある史跡齋宮跡。齋宮は飛鳥時代から南北朝時代にかけて、時の天皇が未婚の皇女を自らの代わりとして伊勢神宮の祭祀に仕えさせた齋王の宮殿とそれを支えた役所(官衙)の遺跡です。その齋宮が大きく変貌したのが奈良時代末期から平安時代はじめにかけての時期です。

一方、古代において畿内の政権にとって東北経営の要であった多賀城も伊治公皆麻呂の乱後の再建に続き、城下の方格地割の整備が進められました。古代国家のすがたを考える上で重要な、この2つの遺跡の画期とその歴史的意義を探求する公開講座を開催します。

講座の内容

- ・ 基調講演 「律令国家の変貌と齋宮・多賀城
-奈良時代末期・平安時代初期の社会的変容-」
東京大学名誉教授 佐藤 信
- ・ 基調報告Ⅰ 「伊勢齋宮の方格街区と近年の発掘調査成果」
齋宮歴史博物館調査研究課 大川勝宏
- ・ 基調報告Ⅱ 「多賀城跡と城下の方格地割」
宮城県多賀城跡調査研究所 村上裕次
- ・ 鼎談「多賀城と伊勢齋宮 その変革からうかがえるもの」

新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて、中止や内容の変更があり得ますので、あらかじめご承知おきください。



多賀城碑

参加申込みの方法

- ◎参加定員 ・東北歴史博物館での参加 145名
・YouTubeでのオンライン動画配信による聴講 150名
- ◎参加費 無料
- ◎申込方法 令和4年1月20(月)9時30分から2月19日(木)15時0分の期間に、「みやぎ電子申請サービス」の下記QRコードから申請のサイトに進み、お申込みください。
会場参加かオンライン聴講のいずれか希望される方のお間違え無いようお願いいたします。

【申込先】

・会場参加



・オンライン聴講



または宮城県ホームページでトップ>検索メニュー>目的
>イベント・募集>講座・講演会で検索してください。

本公開講座に関する問い合わせ先

齋宮歴史博物館【齋宮活性化実行委員会】
〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL 0596-52-3800(代)
E-mail saiku@pref.mie.jp

会場に関する問い合わせ先

東北歴史博物館
〒183-0026 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL 022-368-0106(代)